

5分で読める

ちょっと役に立つ

『家電リサイクル』
『家電PLセンター』

その仕組みと内容について

平成25年 8月

家電リサイクルとは？



平成13年に施行した家電リサイクル法はどうして生まれたのですか？



家庭でいらなくなった家電製品は年間約60万トンにもなるといわれています。平成13年以前、廃棄家電はそのほとんどが埋め立てられていました。これも限界があります。また、家電の材料には再利用できる資源もあります。そこで、資源の再利用を促進し、廃棄物を減らすために、家電リサイクル法が誕生しました。



家電のリサイクルの対象となる家電の種類を教えてください。



主に家庭で使用されている『エアコン』『テレビ(ブラウン管式、液晶・プラズマ式)』『電気冷蔵庫・電気冷凍庫』『電気洗濯機・衣類乾燥機』の4品目です。



家電リサイクルの流れは？



家電リサイクルの流れはどのようになっていますか？ 教えてください。



家電商品を廃棄したい消費者は

- ・ 廃棄家電を購入した小売店あるいは自治体に引渡します。消費者はリサイクル料金と回収してもらう費用を払います。



収集・回収する業者は

- ・ 家電リサイクル商品を引き取ります。あるいは買い替え時に引き取りをします。



回収業者に引渡します



リサイクルをするメーカー

- ・ メーカーが作った家電を引き取ります。
- ・ 引き取った家電をリサイクルして再商品化します。

家電リサイクル対象外の家電リサイクルは？



家電リサイクルの対象外の家電はどうなるのですか？



家電リサイクルの対象外家電はいままでのとおり自治体が収集しています。



自治体で処理する場合にはどんな手続が取られるのですか？



多くの場合、郵便局で料金を送付します。

郵便局はリサイクル券、受領書、証明書を発行してくれます。

自治体は家電を回収するために定期的に回っています。その該当日に合わせて、回収業者に渡します。

郵便局に振り込む金額はリサイクル費用です。

回収業者の回収費は含まれていません。回収日の当日に回収業者に支払います。

家電PLセンターとは？



家電製品PLセンターはどんなことをするのですか？



- ・家電製品の機能、性能、安全性等に関する相談に対しアドバイスや情報を提供します。
また、家電製品によって事故が発生した場合に相談を受けます。
- ・家電製品によって事故が発生した場合に消費者と家電製造業者との間の紛争を解決するための斡旋を行います。
また、解決するための裁定も行います。



家電製品PLセンターでは、どんな家電製品の事故が相談、斡旋、裁定の対象になるのですか？



テレビ、ビデオカセットレコーダー、冷蔵庫、掃除機、電子レンジ、洗濯機、エアコン、パソコン、ワープロ等々家電製品全般です。



家電製品事故受付内容は？



家電PLセンターにはどんな相談が寄せられているのですか？



家電PLセンターは、一人で事故原因を究明できにくい消費者から相談を受ける窓口です。家電PLセンターは、家電製品に事故が起こって消費者から相談されたときに、メーカーの間に立って、原因究明と紛争処理を行っています。下記のような事故例を参考に、事故が起こったら相談したらいかがでしょうか。

1

2槽式洗濯機付近から火が出て木造2階建て住居が半焼した

2

テレビの画面が消えて、においと煙が出てきた

3

テレビから火花が出て樹脂が焦げるようなにおいがした

4

同一モデルパソコン4台の内3台の電源部から火花が出た

5

食器洗い乾燥機から火と煙が出た

6 オープンレンジ付近から火が出て本体と食器棚が焼けた

7 パソコンのCD-ROMから煙が出た

8 電子レンジ内から煙が出てきた

9 超音波美容器で目じりにシミができた

10 超音波美容器でお尻にやけどした

11 電気ストーブの下部が溶け床が焦げて燃えた

12 エアコン室外機から出火し、外壁が燃えた

13 電気アンカの電源コードのゴムが溶け毛布とシーツが焦げた

14 掃除機を使用中、突然コードリールの穴から煙が出た

15 ヘアドライヤーのコードから火花が出て火傷した

16 ホットカーペットのコントローラーから煙が出て絨毯がこげた

17 ホットカーペットが原因と思われる火災で家財が燃えた

18 扇風機から出火し、畳が焦げ、煙と煤が出た

